



鳥取県 南部町

鳥取県 南部町役場 健康福祉課
「健康管理センターすこやか」
〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭482
☎0859-66-5524 FAX 0859-66-5523
<http://www.town.nanbu.tottori.jp/>
Eメール: kenkou@town.nanbu.tottori.jp

本町のデータ

(1)面積 114.03 km²

(2)人口

男性:5,364人 女性:6,011人 合計:11,375人
65歳以上人口比率(22国調):30%

(平成26年12月31日現在)

(3)世帯数

世帯数:3,901

(4)沿革

平成16年10月1日合併(町制施行)
西伯郡会見町、西伯郡西伯町が合併し、南部町が発足

《町章》



本町の概要

南部町は豊かな自然に恵まれるとともに、県下有数の古墳密集地帯で、大国主命の古事に由来する史跡・地名が多く見られ、律令国家以前から豊かな文化が栄えた場所です。町の南側に鎌倉山(731m)など日野郡に連なる山地、北側に手間要害山(329m)を挟んで平地・丘陵地が広がり、水田地帯と町の特産物である柿・梨・いちじくなどの樹園地が形成されている。

★町のキャッチフレーズは、『見てごしない、桜と蛍の舞う町 南部町』

自然を大切にして、環境を守り育てていく姿勢と、人々が集い、交流し、協力し合いながら、まちづくりをする様子を表現している。



■町の花: 決定の趣旨 宿場町の名残の川・山・自然とよく合い、心がなごむ

■町の鳥: 決定の趣旨 「ブッポウソウ」全国的に希少種であるブッポウソウは、豊かな里山環境を証明する「幸せの青い鳥」

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

人は生きていく中で、様々な問題を抱えたり、うまく自分を表現できなかつたり、他者との関係に悩むなど、誰もがうつ状態に陥る可能性があります。また、現代では経済的な理由からうつ状態を発症する方も増え、自殺に追い込まれてしまうという危機的状況にさらされています。そのような中で、南部町では誰かに相談できる体制を整え、自分自身が自身の不調に気付くことはもちろん、家族や周りの方が当事者の異変に気づくことができるよう、早期の見守り体制の構築や相談しやすい体制づくりを目指しています。取組の中では、町内に精神科を有する総合病院もあり、互いに連携しながらうつ予防、自殺予防を行っています。

<具体的な取組み>

■南部町では、以前から自殺対策の取組みを行ってきましたが、平成23年度から対象者層を絞り込んで事業を実施してきました。

- (1) 平成23年度:高齢者のうつ病予防のため、チェックリストを用いて「うつ傾向」の高い方へ個別訪問を行ったり、相談を受けるなどを実施。
- (2) 平成24年度:成人期のうつ予防に取組む。内容は高齢者のうつ病予防とほぼ同様で、個別相談を中心に実施。

※ 高齢者のうつ病予防、成人期のうつ病予防では、町内の各地区で国民健康保険西伯病院うつ病対策チーム(医師1名、看護師1名、臨床心理士1名で構成)とともに、健康教育を実施してきました。

- (3) 平成25年度以降は小中学生に対して取組む。小中学生に対して、助産師会や病院勤務の看護師に協力いただき、『いのちの教育』を実施してきました。『いのちの教育』では、内容に性教育だけではなく、いのちの大切さや自分を大切にすることを中心に講話を実施しています。また、近年では子どもの時からストレスについて知り、ストレスと上手に付き合う方法やメディアとの関わり方等の講話を行っています。その他、小中学生の保護者に対して幼児教育専門家を招いた講演会の実施も行っています。

■平成25年度には、町単独で啓発物品を作成し、小中学生に配布しました。

〈ねらい〉

小中学生がいる家庭の保護者は概ね30~40代の男女になります。子どもが学校で聞いてきた「いのちの講話」を家庭の中で話題にしてもらうとともに、啓発物品にマグネットクリップを採用したことで学校行事等の予定をクリップでとめ、冷蔵庫などよく目に留まる場所に張り付けてもらうことを目的としました。また、マグネットクリップには相談先を明記し、町担当課だけではなく医療機関の連絡先も記しています。

マグネットクリップの表面

